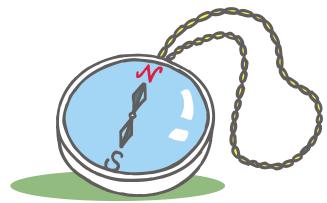


# 羅針盤



第 9 号

令和2年(2020年)6月29日(月)

## ◆『いじめについて考える日』

住吉中学校では、違いを認め合い、互いに相手を思いやる集団育成に重点をおいた教育活動を展開しています。生徒の皆さんも十分に理解していることは思いますが、「いじめは生命をもおびやかす行為であり、人間として絶対に許されない行為」です。仲間はずれ、冷やかしやからかい、誹謗中傷、・・・、自分がされて嫌なことは、誰がされても嫌なことです。「いじめ」は、絶対に許されるべきことではありません。生徒の皆さんの中にも、安全で安心して学校生活を過ごす権利を持っています。常に相手の立場に立って物事を考え、友だちが抱えもっている課題を自分の課題として捉えて、時と場合によっては、学級や学年、学校の課題として考えることが何よりも大切なことです。課題の解決に向けて、共に考え、協力し、支え合えることが大事なのです。全ての人が持つ人権を守ること、誰もが生きていく権利を有することを当たり前のことではあるけれど、今一度しっかりと振り返るとともに、考える時間を持ってもらいたいと考えています。

保護者の皆さん、「いじめ問題」に限ることなく、ご家庭で何かお困りのことがありましたら、些細なことでも構いませんので、学校の方へご相談ください。学校にできることも、確かに限界はあるとは思いますが、保護者・地域の皆さんと一緒にしっかりと手を携えて、子どもたちにとってより良い教育活動や一人ひとりの子どもたちにとって少しでも多くの支援できる活動を展開して参りたいと考えています。 (校長 坂井 伸治)



## ◆ 大阪北部地震から2年

今から2年前の6月18日、大阪府で最大震度6弱を観測した大阪北部地震は、生徒の皆さんにも記憶に新しい出来事でしょう。高槻市や茨木市、枚方市で住宅などに6万棟以上の被害がおよび、死者も6人、負傷者は462人と、建物の被害だけでなく人的な被害も大きな地震でした。日本では地震が頻発しているために、被災者やその近しい人たちでなければ、気にしなくなってしまうことが多い、地震が起きた直後は、誰もが危機感をもちますが、時間の経過とともに記憶が薄れていってしまうのも事実です。しかしながら、地震などの自然災害はいつ起こるか誰にも予測はできません。大阪北部地震から、私たちが学びとったことは何なのか、今一度振り返る時間を設けてみても良いのではないかと思います。事前の備えを整えていくことが何よりも重要なことであり、避難場所や避難経路の確認、避難するときに必要なものをまとめておくといったような対策を日頃から準備しておくことが必要であるとされています。そして、地震が起きたときは、誰もが被災者となり、助け合うことも必要ですが、まず何よりも自分の身は自分で守らなければいけません。皆さん一人ひとりの命は何物にも代えることのできない尊いものです。家族や親しい人たちの安否を気に掛けることも必要ではありますが、最優先すべきことは、『自分の身の安全を自分の力で確保する』ということです。新型コロナウイルス感染症の拡大により、日常の生活様式までもが様変わりしている現状ではありますが、もしもの備えを、時には振り返ってみて、各家庭でも話し合いをして、確認していただく機会をしていただければと思います。

